



APNICとは何か

前村 昌紀

JPNIC・IPアドレス検討部会・主査

A member of Executive Council,
APNIC



内容

- そもそもAPNICとは
- IR階層構造の中の位置付け
- 歩み
- スタッフ
- 組織構造
- 意思決定プロセス
- JPNICとの関係
- 問題点

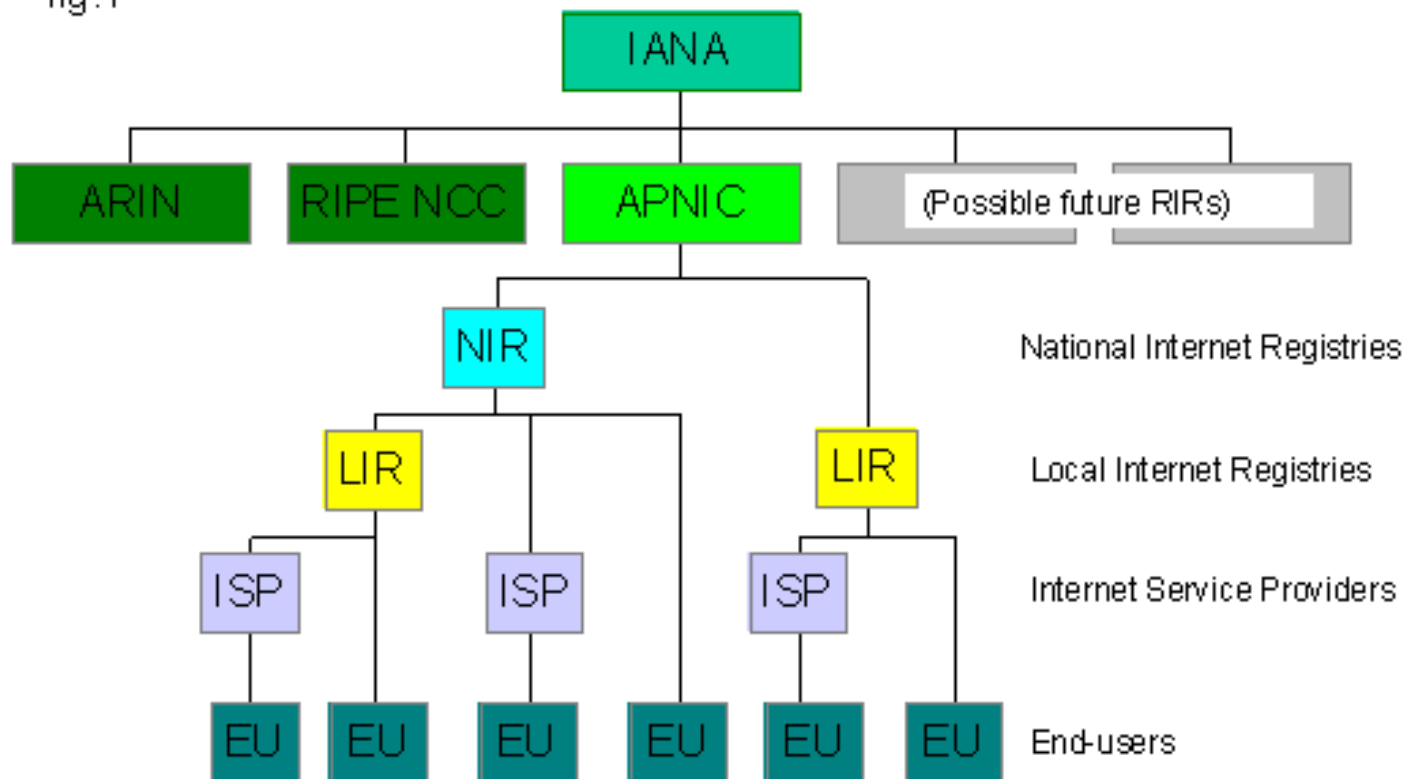


そもそもAPNICとは(1)

- Asia Pacific Network Information Centre
- RIR(Regional Internet Registry)として、ICANN(Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)から直接IPアドレス管理の委任を受け、LIR(Local IR)に対してIPアドレスの割り振り(Allocation)を行う
- 他のIRと違い、NIR(National IR)という中間構造を持ち、各国のLIRに対するサービスの言語・文化的ギャップを吸収する。
- NIR, LIRをメンバとする会員組織

IR階層構造の中の位置付け

fig.1





APNICの歩み

- 1994年・パイロットプロジェクトとして立ち上げ。InterNIC, RIPE/NCCとの3極体制を目指す。
 - 事務局長 David R. Conrad
- 当初東京ベースの任意団体, セイシェルズ籍のNPOを経て1998年オーストラリアで法人格を取得, 事務局を移転。
 - 事務局長 Paul Wilson

スタッフ

- Director General: Paul Wilson
 - 以下の22名のスタッフ。人種国籍分散が図られる
- Mgr, Member Service: Anne Lord
 - hostmaster 5名, トレーニングマネージャ1名
- Mgr, Tech Service: Paul Gampe
 - プログラマ, SysAdminなど6名
- Documentation Mgr: Gerard Ross
 - 専属ライターとして、ドキュメント, 契約文書を作り上げる
- Business Mgr: Kyoko Day
 - 以下経理総務関係5名





組織構造

- IRとしての側面

- 総会が最高意思決定機関
- 総会はExecutive Council を任免。日常的な意思決定を委ねる
- Executive Council はDirector General を任免。

- 会社としての側面

- DGはAPNIC Pty Ltd. の社長
- 総会その他はPty Ltdの「特別委員会」



Executive Council

- APNICの事業運営を監督する
- 総会が開催されない期間の意思決定を委ねられている
- APNIC総会にて選挙を行い選出。任期は2年




Executive Council の顔ぶれ

- Tommi Chen The Network Connections MY
- Che-Hoo Cheng Level 3 Communications HK
- Geoff Huston Telestra, BoD of ISOC AU
- 前村 昌紀 JPNIC, Global One Japan JP
- Xing Li Tsinghua University CN
- OH Kwang Sok KRNIC/NCA Korea KR
- Kuo-Wei Wu Yam Digital Technology TW



最近の動き

- Open Policy Meetingの実施
 - メンバから議事を募って、ポリシーに関して議論を行う。
 - ICANNとのMoUの中で、RIRがその実施を求められている
- APNICミーティング、初の単独開催
 - APRICOTミーティングを含め、年二回のOPM, 総会の開催が実現。



もっと最近の動き (問題点とその解決)

- OPMのコンセンサスに関してそれを施策として実装する手続きが欠如している
 - ワーキンググループ化の模索
 - 特定テーマを議論、総会に提案し、承認を得るという動き
 - 特に懸案となっているテーマ
 - 審議ガイドライン, 個人情報取り扱い, 新しい提供形態のサービスに対するIPアドレス割り当ての取り扱い。。。



Achievement

- ICANNとの正しい関係性
- スタッフ拡充
- 民主的意思決定プロセスの模索
- メンバーサービスの拡充
 - 情報サービス(Webなど)の充実
 - 自動化
 - CA